

令和8年度 主要事業計画

児童サービス事業

■ 読書・絵本・読み聞かせ講座

【絵本講座～おうちで読み聞かせを楽しもう～】

各会場館で開催されている「えほんとわらべうたの会」(32 ページ参照)終了後、親子で絵本やわらべうたに親しむことの楽しさと大切さを伝えるとともに、家庭での絵本の与え方・選び方についてお話しする。

開催日	中央図書館：令和9年1月20日、2月17日、3月17日（いずれも水曜日） 城北図書館：令和9年1月13日、2月10日、3月10日（いずれも水曜日） 西図書館：令和8年5月13日、6月10日、7月8日（いずれも水曜日） 都田図書館：令和8年5月12日、6月9日、7月14日（いずれも水曜日） *3つのテーマについて各4回の講座を行う。希望する日に参加する
対象	0～3歳くらいの子の保護者
募集定員	参加自由

【おでかけ絵本講座】

保護者や読み聞かせボランティア等を対象に幼稚園・保育園・小学校等へ出かけて絵本の読み聞かせについて講義をする。

開催日	随時
対象	市内の幼稚園、保育園、小学校等

【あかちゃんのための絵本講座】

絵本やわらべうたを通じて親子でふれあうことの大切さを伝えるとともに、月齢に応じたお薦めの絵本とわらべうたを紹介する。

	会場	前期（全1回）	後期（全1回）
開催日	中央図書館 城北図書館 西図書館 はまゆう図書館 浜北図書館	7月6日（月） 7月17日（金） 7月5日（日） — 7月9日（木）	11月16日（月） — 11月20日（金） 11月8日（日） 11月12日（木）
対象	令和7年4月以降に生まれた子の保護者、 または現在妊娠中の人（夫婦、祖父母、子ども連れの参加も可能）		
募集定員	10組		

■ 読み聞かせボランティア養成講座

読み聞かせボランティアとして奉仕する人材を養成するための基礎講座を開催する。

開催日	令和7年9月15日（火）～11月24日（火）[全8回]
会場	中央図書館

また、一昨年度の修了生を対象に、ステップアップ講座を開催する。

開催日	未定
会場	中央図書館

■ ストーリーテラーステップアップ講座

ストーリーテリングを行うことができる人材を養成するためのステップアップ講座を開催する。

開 催 日	令和8年5月21日（木）～令和9年3月18日（木）[全6回]
会 場	中央図書館

■ ブックスター

6か月から満1歳の赤ちゃんと保護者を対象に、絵本を通じて親子でふれあうことの大切さを伝えるため、読み聞かせやわらべうたの実演、アドバイスをする。おすすめの絵本リストとともに絵本を1冊プレゼントし、赤ちゃんの図書館利用者カードを発行する。市内全図書館や保健福祉センター(1か所)、及び民間施設で通年月1～2回程度実施(一部の図書館では隔月あるいは年1回)。また、外国語の通訳付きブックスターを、年度内11回実施する。

■ おはなし会、えほんとわらべうたの会、特別おはなし会、おでかけおはなし会

乳幼児・児童あるいは親子に対して、絵本の読み聞かせ・ストーリーテリング・わらべうたを行い、読書習慣の形成と図書館の利用促進を図る。

開 催 日	通年（毎週水曜日・木曜日・土曜日等）
会 場	市内複数の図書館（障がいを持つ子どもたちには施設へ出向いておはなし会を開催する）

■ こども郷土研究講座

図書館が所蔵する郷土史から、小学生の関心が高そうなテーマを取り上げて講座を開催し、郷土に関する正しい知識と理解を促す。

開 催 日	第 1 回：令和 8 年 4 月 26 日（土）、第 2 回：8 月 1 日（土）		
会 場	中央図書館		
対 象	第 1 回：浜松市内の小学 3 年生～6 年生	＊保護者同伴可	
	第 2 回：浜松市内の小学 5 年生～中学 3 年生	＊保護者同伴可	
募 集 定 員	各 20 人		

■ 学校との連携・学校図書館への支援

【学校図書館補助員研修会】

開 催 日	令和7年9月 *詳細未定
講 師	未定
会 場	中央図書館
対 象	小・中学校の学校図書館補助員

【新規採用学校図書館補助員研修会】

	①	②	③
開 催 日	4月24日（金）	5月[随時]	2月頃 ※詳細な日程は未定
会 場	中央図書館	新任の学校図書館補助員の勤務する学校	中央図書館
内 容	情報BOX（学校図書館管理システム）の使い方・学校図書館補助員の心得について研修を実施	静岡県子ども読書アドバイザーの派遣により、学校図書館の運営や授業支援について研修を実施	情報BOXを用いた進級処理について研修を実施
対 象	令和8年度新任(令和7年度中途採用)学校図書館補助員 11人	令和8年度新任(令和7年度中途採用)学校図書館補助員 11人	令和8年度新任(令和7年度中途採用)学校図書館補助員 11人と希望者

【学校図書館補助員連絡会】

開催日	令和9年1月頃
内容	学校図書館業務に関する情報交換
会場	中央、積志、はまゆう、浜北図書館
対象	小・中学校の学校図書館補助員

【学習支援パック貸出】

総合的な学習の時間、社会科・理科等での探究学習や、国語科での並行読書に活用できる図書をパックにして小・中学校に貸し出しをする。

【調べ学習コンクール】

「調べ学習」は子どもたちが「自ら考え、課題を解決する力」を養う上で大切な学習と考える。小学3年生～6年生の児童を対象に、図書館の資料を使って調べ学習をした成果を募集して、その努力や工夫を評価するコンクールを行う。この上位入賞作品は全国コンクール「図書館を使った調べる学習コンクール」に推薦する。

【夏休み調べ学習講座】

調べ学習のテーマの決め方や図書館の資料を使った探究学習について学ぶ講座を行う。

開催日	令和8年6月～8月
会場・回数	市内10図書館、15回開催
対象	小学3年生～6年生 ・集合講座…会場5～30人程度

【調べ学習コンクール作品相談会】

「調べ学習コンクール」に応募する作品について、「調べ学習講座」より更に詳しい資料や情報の探し方についてアドバイスをを行う。

開催日時	令和7年8月10日（月）、11日（火）、12日（水）、13日（木） 10時～／11時～／14時～／15時～
会場	中央図書館
対象	小学3年生～6年生 ・一人ずつの個別相談会

【親子新聞講座】

開催日	令和8年8月 *詳細未定
講師	中日新聞担当者
会場	中央図書館
対象	小学3年生～6年生 20組

【読書感想文コンクール】

市内の小・中学校の児童・生徒を対象にコンクールを行い、読書習慣を育成するとともに、読書活動の普及を図る。

【おでかけ図書館】

図書館職員が小学校に出かけて図書館の仕事の説明や調べ学習の進め方の講座を行う。また、ボランティアを派遣して読み聞かせやストーリーテリングを行う。

【図書館訪問・職場体験・調べ学習等受け入れ】

総合的な学習活動、施設見学及び実習の受け入れを行い、小中学生の時期に図書館の利用方法を知ったり、生涯に渡る図書館利用の基礎を養ったりする。また、高校生・大学生等を対象とするインターンシップや図書館実習の受け入れも行う。

- ・ 総合的な学習活動の受け入れ
- ・ 中学生職場体験の受け入れ
- ・ 高校生・大学生による実習

課題解決支援に関する事業

■ 情報活用講座

市内在学の中・高校生世代を対象に、図書館等を利用した情報収集手段の習得を目的として開催する。「課題の発見」「整理・分析」といった探究学習の基礎を学ぶ講座を、外部講師を招へいして開催する。

開 催 日	令和8年8月 *詳細未定
会 場	中央図書館
対 象	中学生・高校生世代

障がい者サービスに関する事業

■ 声のライブラリー

視覚障がい等により、活字のままでは本を利用できない方への読書支援を目的に、録音図書・点字図書の製作及び貸出等を行う。なお、業務運営にあたってはボランティアグループ「かたりべの会」と連携して実施する。

■ 音訳ボランティア養成講座

録音図書製作に必要な音訳知識・技術を指導し、活動に参加できるボランティアを養成する。

開 催 日	令和8年7月～令和9年2月 [本講座20回+実践編4回 全24回]
会 場	城北図書館
募 集 定 員	15人

■ 点訳ボランティア養成講座

点字図書製作に必要な点訳知識・技術を指導し、活動に参加できるボランティアを養成する。

開 催 日	令和8年9月～令和9年2月 [本講座10回+実践編4回 全14回]
会 場	城北図書館
募 集 定 員	10人

■ 読書バリアフリー体験会

拡大読書器やデイジー図書再生機等の利用体験会を行う。

開 催 日	令和8年4月19日(日)
会 場	中央図書館

一般向け講座・講演会等

■ 読書推進講演会

読書に対する興味・関心を抱く機会を提供することを目的に、外部講師による講演会を開催する。

開催日	未定
講師	未定
会場	中央図書館

■ 子ども読書推進講演会

子ども読書活動を促進することを目的に、外部講師による講演会を開催する。

開催日	未定
講師	未定
会場	中央図書館

■ シンポジウム「遠州の歴史・文化・南画・水墨画」

平野美術館、国際日本文化研究センターと共催で、「遠州南画」の魅力や意義を紹介、討議するシンポジウムを開催する。

開催日	令和8年5月9日（土）
講師	磯田 道史 氏（国際日本文化センター教授）、村田 隆志 氏（大阪国際大学教授）他
会場	中央図書館
募集定員	80人

■ 郷土研究講座①、②

開催日	令和8年秋以降
会場	中央図書館
募集定員	50人

■ 古文書解読会

市民が所有する古文書の解読を通して、資料保存の啓発及び新たな資料の発掘を図る。

開催日	令和8年秋以降
会場	中央図書館
募集定員	5人（1人3点以内 古文書・軸物・古絵図等）

■ シニアのための楽しい音読教室

図書館資料を活用して音読をすることで、心身の活性化を図る。また、大勢の人が集まり、同じテキストを音読することでコミュニケーションが生まれるきっかけ作りの場とする。

開催日	未定
会場	市内図書館
対象	概ね60歳以上の音読に興味のある人
募集定員	20～30人

多文化サービス事業

■ 多文化サービスイベント

【いろいろな国のことばのおはなし会】

日本語と英語やポルトガル語などいろいろな国の言語で、おはなし会を開催。

開 催 日	随時
会 場	市内図書館
対 象	多言語による絵本の読み聞かせに関心のある人 *用いる絵本の対象年齢は概ね3～8歳

【外国人向け図書館ツアー】

やさしい日本語やスライドを使って図書館の利用方法を紹介し、利用者カードの登録を行う。また、対象者に合わせ、実際に館内を回って施設内を案内する。

開 催 日	随時
会 場	市内図書館
対 象	市内在住または在学、在勤の海外にルーツのある人

【外国語の通訳付きブックスタート】

開 催 日	ポルトガル語 令和8年4月26日、7月26日、10月25日、令和9年1月24日 英 語 令和8年5月25日、11月22日、令和9年2月28日 中 国 語 令和8年6月28日、9月27日、12月27日、令和9年3月28日 *いずれも第4日曜日
会 場	中央図書館
対 象	外国語(ポルトガル語、英語、中国語)を母語とする乳幼児とその保護者

■ はままつ電子図書における多文化共生資料の収集と提供

はままつ電子図書(後述の「電子図書館事業」参照)において、多文化共生に資する資料を積極的に収集し提供する。

医療・健康情報サービス事業

■ 医療・健康情報サービス事業

市民ひとりひとりが生きがいを持ち、いきいきと生活できる健康都市を目指す浜松市において、図書館では、市民が自ら調べ課題解決をするための支援として「医療・健康情報サービス」に取り組み、資料の充実、関係機関との連携に努める。

- ・「医療・健康情報コーナー」における医療・健康情報の収集と提供
- ・関係機関と連携し、市民と医療・健康情報、行政サービスをつなぐ支援
- ・医療・健康情報に関する講座等の実施
- ・職員の研修会等への講師派遣
- ・職員の資質及び能力向上を図るため職員研修や連絡会の開催、研修会への参加

■ 高齢者福祉課との共催企画事業

【図書館で学びいき健康講座】

高齢者福祉課で実施している「知って得するお出かけ講座」を図書館で開催することにより、関連資料の活用の促進を図る。

* 日時、テーマ等は未定

開催日	—
講師	—
会場	中央 ほか市内各図書館
募集定員	20～30 人

電子図書館事業

■ 浜松市文化遺産デジタルアーカイブ整備事業

デジタル化した浜松市の歴史資料(古文書や絵図等の地域の文化財)をインターネットで公開し、市内外に浜松市の魅力を発信する。

■ 国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の提供

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料を利用可能とする。

■ 国立国会図書館「歴史的音源送信サービス」の提供

国立国会図書館デジタルコレクション内の資料のうち、SP盤、金属原盤等の歴史的音源約 5 万音源を試聴可能とする。

■ はままつ電子図書

個人のパソコン、スマートフォン、タブレットなどの端末を使って電子書籍を借りることができるサービスを実施。多文化共生に資する資料や地域資料などを含め、幅広く資料を収集・提供し、非来館サービスの充実化を図る。

そのほかの事業

■ 企画展

開催日	随時
会場	市内 22 図書館および分室

■ 中学生図書館ボランティアの受け入れ

活字離れや図書館離れが進む年代である中学生を対象に、ボランティア活動を通して社会奉仕の大切さと読書への関心を高める。

会場	市内 21 図書館
活動内容	書架整理・配架等の作業

■ 中央図書館企画展示

浜松市立図書館が所蔵する資料を活用した企画展示を行う。

開催日	令和 8 年 3 月 27 日～5 月 27 日、他
会場	2 階展示ケース
内容	『浜松の秀吉ゆかりの地と人物』、『中央図書館所蔵絵画作品の展示』他

■ 16 ミリフィルムライブラリー

社会教育の振興及び学校教育の促進を目的とする映像ライブラリー（団体上映権付映像資料所蔵）事業において、16 ミリフィルム等の団体貸出、巡回映画会、映写機操作技術講習会を実施する。

- ・巡回映画会
- ・映写機操作技術講習会[2 年に 1 回] 令和 8 年度は実施予定

■ はままつ図書館だよりの発行

図書館利用に関する情報の提供を目的として発行する。

発行	毎月
発行部数	530 部

■ 公式 SNS 配信

実施館	X (旧 Twitter)	中央・城北・南・西・積志・東・北・可新・はまゆう・浜北・天竜・舞阪・雄踏・細江・引佐・三ヶ日・流通元町・都田の各図書館
	Instagram	中央・西・浜北・舞阪・雄踏・三ヶ日・春野の各図書館
配信日		随時

■ 浜松市史等の販売

販売場所	中央・天竜・春野・佐久間・水窪・龍山の各図書館
販売図書	浜松市史、浜松市戦災史資料、高林家資料、可美村誌等